



国体に向けギフトとフラッグ制作に取り組む皆さん（関連記事：4ページ）

今月の村長室から

新緑がまぶしい農繁期を迎えました。役場では今月からクールビズを始め、職員もノーネクタイで事務をしますがご理解をお願いします。

○環境整備と河川清掃について

五月十三日には多くの方にご協力頂き、河川の除木やゴミ拾い、花植えなどで村内を大変美しくして頂きました。村外からのお客様にも喜ばれると思います。環境整備は日頃から心がけて、美しい景観を保って頂きますようお願いいたします。村民の皆様には、ゴミの分別の徹底、可燃ゴミの減量、生ゴミのたい肥化や村で購入を補助しています生ゴミ処理機の利用など、大変努力して頂いています。美しい村連合への加盟を契機に、更に力を入れていきたいと思えます。

○「日本で最も美しい村」連合の総会に出席

総会が行われた愛媛県上島町は、瀬戸内海の四つの町村が合併した町で有人無人の十以上の島からなる風光明媚な町ですが、何処へ行くのもフェリーが必要という不便な地域でした。しかし町内は美しく整備されており、見習いたいものだと思います。

○今月の行事について

五月二十七日に消防団恒例の消防操法大会が行われ、素晴らしいチームワークにより、村の安心・安全を確認しました。優勝した第五部は郡大会に出場します。また三日に加茂郡体育大会が本村をメイン会場に開催されました。九種目に選手がエントリーし頑張ってくれました。応援ありがとうございました。

○加茂郡町村会会長に就任

加茂郡町村会会長と岐阜県町村会副会長を兼ねてお務めの坂井富加町長が勇退され、その役職を今月から引き継ぐことになりました。皆様のご協力です。

協力で全うしたいと思っています。村民の皆さんや職員に迷惑をかけることと思いますが、ご理解とご協力をお願いします。



「資源」集めて「ごみ」減らす

環境省の実態調査によって、村の二〇一〇年度の一般ごみリサイクル率が全国八位の五五%だったことが報告されました。また、一人あたりのごみの排出量も、県内平均の半分以下となっています。

この良好な現状を保つため、今回はこれらの要因と、ごみに関する問題点、改善策を紹介します。

○リサイクル率とは

自治会などによる資源回収と、自治体が収集した可燃・不燃ごみなどを合わせた総量の内、再利用した割合を「リサイクル率」といいます。

○大きな要因は資源回収

村の数値が五五%となった主な要因は、小中連合PTAによる資源回収への取り組みが盛んであることが考えられます。この回収量だけで、リサイクルされた量の四〇%を占めています。

また、村民の皆さんが資源回収や生活の中でごみの分別に協力的であることも要因の一つでしょう。

一人あたりのごみの排出量については、農家が多いため生ごみを堆肥や家畜の餌に利用していることで少なくなっていると思われます。

○ごみを減らすための考え方

ごみを減らす基本的な考え方として「3R」というものがあります。

①リデュース (Reduce) : 減量

unnecessaryものは買わない・作らないなど、ごみを発生源から断つ

・ 買い物にはマイバッグを持参

・ 過剰な包装は断る

・ 詰め替え商品を使用 など

②リユース (Reuse) : 再使用

使えなくなるまで、何回も繰り返し使っ

・ まだ使える不用品は、必要な人もとへ (不用品バザー・リサイクルショップへ)

・ 壊れても修理して使う など

③リサイクル (Recycle) : 再資源化

ごみを原材料として再利用する

・ 指定された分別に従っ

・ 再生材を使った商品を使う

・ 生ごみは堆肥化する など

○現在の村の取り組み

①生ごみ処理を支援しています

村では自家処理用に設置する生ごみ処理機について、購入費の助成をしています。

これを利用して処理することによって、肥料化による生ごみの資源化やごみ袋の節約が期待されます。

ぜひご利用ください。

助成額：購入費の半分、五万円まで

※処理後の残留物については、各自で処理できる場所・方法を確保してください

②資源ごみ袋の無料化

村内全世帯を対象に、村が指定する資源ごみ袋の無料化を行っています。少しでも多くのごみを資源にするために、積極的にご利用ください。

○ごみに関するお願い

・ 種類によって正しく分別し、指定日に出してください。

・ 決められたごみ袋やシールなどを使用し、出した方を明確にするために世帯主の名前を記入してください。

これらに従っていないごみについては、回収出来ません。必ず決まりに従ってごみを出してください。



悪い例：金物とプラスチックが一緒に入られています

・ ごみは前日の夜か当日の朝に出してください。

ごみが長時間集積所に放置されると、鳥獣に荒らされたり、悪臭が発生するなどして近隣の方に迷惑がかかる恐れがあります。

それを防ぐためにも、前日の夜か当日の朝（八時三〇分まで）に出していたください。

○このごみは何ごみ？そんな時は

村では四月にごみカレンダーを配布しています。ごみ出しの基本的なルールについてはこちらに記載していますので、参考してください。

その他ごみ出しや分別で不明な点があれば村民課環境係にお気軽にご連絡ください。

PTA 資源回収



今年度最初の連合PTA主催の資源回収が五月二十日に行われ、PTA会員、児童生徒、地域の方が回収・分別作業に取り組みました。村内から集められた資源は、それぞれの分別品目に分けられ、手際よくトラックへ積み込まれていきました。

○感謝の気持ちを意識するため
資源回収の収益は、PTAの活動費へと充てられています。その用途は、図書購入費、部活動への支援、学校行事への協力費、卒業記念品の購入など、いわば学校生活を豊かにするものです。

また回収するのは、埋め立て処理しか道が残されていない「ごみ」ではなく、まだ「資源」として活用出来るものです。

これらを意識して回収作業することで、子どもたちに感謝の気持ちをより意識してもらうことが目的です。

他にも、資源が循環していく現場に触れてもらうことで、リサイクル意識を育てる場にもなります。

○村民の高い意識と今後の懸念
連合PTA会長の今井嘉徳さん(平)は、「皆さんが正しい方法に従って丁寧に出しているおかげで、回収する上でとても助かっています。高いリサイクル率を生み出しているのも、子どもが少ない地域でも地域単位で協力し合って資源を集めてもらっているおかげです。」と、村民の資源回収に対する高い意識について感謝を述べていました。

また今井さんは、今後の資源回収に対して「これから子どもがもっと少なくなっていくこと、また資源物の単価が下がってきていることから、現在のやり方を続けていけるか心配。」といった懸念を話していました。

○他市町村の取り組み
リサイクル率全国一位の鹿児島県大崎町(八〇%)とそれに次ぐ同県志布志市(七五%)に共通するのは、生ごみや廃食油を資源として回収し、それぞれ、完全に堆肥化して菜の花やひまわりの栽培に使用する、ゴミ収集車の燃料へ活用する、といった特徴的な取り組みです。また、資源ごみで生ごみの他にも割りばしや串を回収したり、ビンや紙の種類で品目を細分化しており、大崎町は二十六品目、志布志市はさらに小型家電を加え二十七品目にも分けられています。

またどちらの市町も、住民の分別に対する積極的な姿勢が高いリサイクル率を生み出す大きな要因になっているようです。

○このリサイクル率の継続の為に
資源回収については、今後も引き続き支援を行っていきます。また、懸念されている少子化などに対しては、村全体で今後も引き続き対策を講じていきます。

県内一位のリサイクル率を維持していくためには、村民の皆さんが高い意識を持ち続けていくことが大切です。

○「美しい村」を保つため

―恒例春の河川清掃―

夏には、村の河川での鮎釣りや川遊びが盛んになります。そのシーズンを前に恒例の河川清掃が五月十三日に村内十四力所で実施され、今年も約五百五十人が参加しました。

白川・大明神川・佐広川・神付川・西洞川・久須見谷でごみ拾い、草刈り、除木などが行われ、集められたゴミは昨年と比べ金物の量が多く、あわせて一・七ト程となりました。

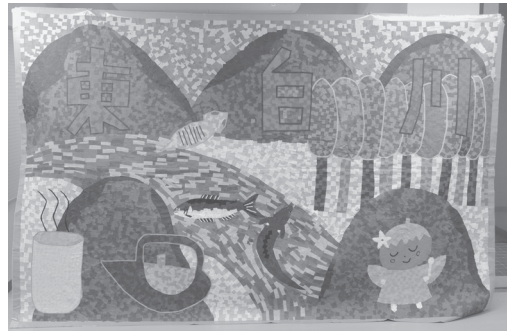
この行事への参加を始めとして、村民の皆さんの環境に対する高い意識が、「美しい村」の景観を守り続けています。



中川原水辺公園付近で
集められたごみ

○皆で作成、シンボルの旗

―ギフとフラッグワークショップ―



「ギフとフラッグ」の全体図

県では「ぎふ清流国体・ぎふ清流大会」来場者に岐阜県の魅力を伝えるため、各市町村の名物や特徴などを描いた旗を作成する「ギフとフラッグワークショップ」を行っています。旗の元絵は以前募集された「まちのお宝」の採用作品を組み合わせてデザインされています。

村では五月十一日から十三日にかけて小学校、中学校、鮎ヶ瀬会館で行われ、合計約百四十人が参加し「つちのこ」「ひのき」「白川茶」などをちぎり絵のように布片を張り付けて制作しました。今後この旗は各大会の総合開閉会式や炬火リレーなどに活用されていきます。

○グルメの祭典に一万五千人

―かも1グランプリ―

五月十三日、第三回かも1グランプリが川辺町で開催されました。このイベントは可茂地域のご当地料理を多くの方に知ってもらうことで、地域振興につなげ、ふるさとに活気を見出す事を目的としています。

村からは、有志のグループ「OPD」の皆さんが村の食材を使って試作を重ねた「鶏ちゃんうどん」を出品し、見事売れました。

OPDの今井洋介さんは、「今回参加して村にもこのようなおいしいものがあると多くの人に知ってもらえて良かったと思います。」と話していました。



「鶏ちゃんうどん」を販売する
OPDの皆さん

○村の園児とふれあい、学ぶ

―名古屋女子大生保育研修―



一日ですっかり仲良しに

五月十五日から三日に分けて、名古屋女子大学で幼児保育学を専攻する一年生がみつば保育園へ研修に訪れました。約百六十人の学生は、講義で学んだ知識と技術の実践として、園児とのお遊戯や絵本の読み聞かせなどの実習を行いました。

この研修は大学卒業までに六回行われ、各所の保育施設を訪問し、保育者として着実に成長していきます。

実習では、先輩の保育士から「頑張って勉強して素敵な保育士さんになってください」と応援の言葉が贈られていました。

ひがしらかわ

○手軽な料理で健康長寿

―楽チーン！栄養教室―

高齢になっても元気な身体作りの基本である、食と栄養の大切さを学ぶ教室が、六十五歳以上を対象に五月十八日に保健福祉センターで開かれ、十五人が参加しました。

教室では、栄養士から栄養不足にならないための食べ方のポイントを聞いた後、実際の調理に挑戦。この日のメニューは「キャベツと肉の重ね蒸し」と他二品。レンジを使って簡単・楽チンに出来る上がる料理に、教室生は「こんな方法もあるんやね」と驚いた様子でした。

この教室は八月にも予定されています。保健福祉センターまでお気軽に申してください。



料理をしながらも
会話を楽しむ場にも

○自然の中で絆を強める

―親子のふれあい体験塾―



ようかんづくりに挑戦

ふれあい体験塾が五月十九日に宮代キャンプ場で行われ、親子十四組が参加しました。この行事は自然の中で楽しく過ごし親子の絆を深めてもらおうと、保育園が計画したもので、NPO法人青空見聞塾のスタッフが指導を行います。

参加した親子は、ようかんづくりや荒茶の最終工程「火入れ」の体験を行いました。その後、昼食場所を目指して山の中を歩き、鉱山洞と呼ばれる目的地で、持参したお弁当を食べたり、水遊びをするなど、自然を堪能していました。

親子で貴重な体験を共有し、絆を深める良い機会となりました。

○声を掛け合い結束しました

―中学校体育大会―

クラスの結束を固めるために毎年この時期に行われる中学校体育大会が、五月二十四日に行われました。

競技は個人競技と団体競技を合わせて十二種目で、学年対抗で得点を競いました。総合優勝は三年生となったほか、二百メートル走で安江貴人くん（三年・陰地）が、学級対抗リレーでは三年生が歴代最速を記録、大縄跳びでも三年生が歴代記録に百回以上差を付ける四百四十四回を記録しました。

どのクラスも積極的に声を掛け合い共に高め合う姿を見せ、大会を通してより団結力を深めたようです。



3年生の大縄跳び
見事歴代記録を更新しました

○有事に備えて迅速な動きを

―東白川村消防操法大会―

五月二十七日、第四十八回東白川村消防操法大会が行われました。

大会ではどの出場ポンプも日ごろの練習の成果を発揮し、連携のとれた動きを見せていました。

大会の結果は次の通りです。

消防ポンプ自動車の部

優勝：第四部自動車班

・個人表彰

指揮者：安江清（第四部）

一番員：今井和直（第三部）

二番員：安江賢一郎（第三部）

三番員：栗本豊茂（第四部）

四番員：竹本勤（第三部）

小型動力ポンプの部

優勝：……第五部

準優勝：第四部

第三位：第一部二班

・個人表彰

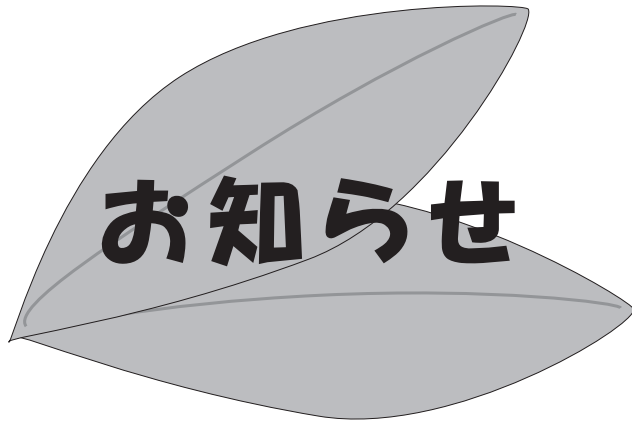
指揮者：今井昭寿（第四部）

一番員：安江崇真（第五部）

二番員：大坪哲也（第四部）

三番員：鈴木興志（第四部）

なお、第五部の皆さんは村の代表として、六月十七日に行われる第五十六回加茂郡消防操法大会に出場します。



子育てママの会 7月開館日						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	⑦
8	9	10	11	12	13	⑭
15	⑮	17	18	19	⑳	㉑
22	㉓	㉔	㉕	㉖	㉗	㉘
29	㉚	㉛				

○が開館日です

東白川村情報基盤施設に関するアンケート結果

昨年12月に、機器更新の時期を迎えた情報基盤施設の更新について、費用対効果と必要な機能の順位、また今後の情報化を見据えた更新を行うための意向調査のためにアンケートを実施しました。全体の回収率は30.7%で、年末であったことや回収方法に問題を残した結果となりましたが、今後の方向を検討する重要なご意見を多数頂きました。

【一番良く使う通信機器は「携帯電話」、情報は「有線放送」から】

携帯電話に次いでNTTの固定電話、第3位が有線電話という結果となりました。また村からの情報を得る方法としては、有線放送が1位、次いで毎月の配布物と自主放送が同じくらいの比率となりました。これらから有線電話を今後どうするかといった検討課題が明確となりました。

【運営は「村営」で】

施設の運営主体は、村が継続して行うことが望ましいとの結果となりました。

【緊急対応は、メール配信サービスと屋外スピーカーで】

緊急放送への意見では、多くの方が携帯メールの有効性をご指摘頂き「メール配信サービス」をこの4月から開始しました。まだまだ登録者が少ないので、広報4月号をご覧頂き、ぜひ登録してください。要望が一番多かったのは屋外スピーカーの設置で、今後防災同報無線も含めての検討課題にしていきます。

【今後必要なサービスは】

防災意識が高まり、防災・災害等の情報を伝えるサービスへの要望が多かったほか、少子化対策への取り組みを要望するご意見も頂きました。自主放送については、河川監視カメラの設置と緊急時に迅速な情報提供を求める意見が多くあり、対応を検討していきます。

【使用料について】

おおむねご理解を頂いている結果となりましたが、サービスの充実や都市部との格差是正に今後も取り組んでいきます。

【全体についてのご意見など】

自主放送については災害発生など緊急時の情報伝達へのご意見、「ほっと茶んねる」のマンネリ化、他の地域の番組も流して欲しい、広く取材を行い地域の情報をもっと流して欲しい、などのご意見を多く頂きました。設備面では有線電話の検討、屋外スピーカーの設置、F T T H化（光ファイバー化）を進めてほしいなどのご意見を頂きました。

今回のアンケートで頂いた貴重なご意見を取り入れ、東白川村情報基盤施設管理運営協議会委員の方々と一層の検討を重ね、更新計画を策定したいと思っています。ご協力ありがとうございました。

サマージャンボ宝くじ 発売期間：7/9（月）～7/27（金） 抽選日：8/7（火）

1等・前後賞合わせて5億円 1等…4億円×26本 前後賞…各5千万円×52本

2千万サマーも同時発売 1等…2千万円 450本

この宝くじの収益金は、市町村の明るく住みよいまちづくりに使われます。

戸籍の窓

5/1
～ 5/31

(敬称略)

- 誕生おめでとうございます
増田若葉 (智之・朋子 / 平)
- お悔やみ申し上げます
桂川完二 97歳 (黒淵)
安江きり 76歳 (下親田)

ありがとうございました 御寄付

5/1～5/31
(敬称略)

【東白川村】

■医療・保健福祉部門指定寄付

金 10万円…安江良浩
金 10万円…匿名

【社会福祉協議会】

金 10万円…安江歌子 (陰地)
金 3万円…安江和行 (平)
金 1万円…瀬瀬甲子郎 (上親田)
金 1千円…匿名
清拭布、タオル、洗剤
…島倉淑子 (下親田)

清拭布…大沢婦人の会

清拭布…匿名

テレホンカード…今井桂子 (平)

古切手、石けん…大明神木材

古切手…田口恵津 (平)

古切手…古田タクエ (平)

古切手…今井愛子 (大沢)

古切手…新田晃三 (名古屋市)

古切手…(有)ナカシマ

古切手…(有)カネヒサ建築

古切手…田口営繕

古切手…茶の里野菜村

古切手…(株)慈光堂 (中津川市)

古切手…匿名

東白川森林組合月末報告 第 643 回共販会

ひのき 13cm 以下小丸太…平均単価 /8,300 円
ひのき 14cm 以上…平均単価 /17,900 円 高値 /100,000 円
すぎ…平均単価 /9,700 円 高値 /16,200 円
赤まつ…平均単価 /7,300 円 高値 /10,000 円
総取扱量 /564 m³ 総販売高 /829 万 6 千円

後期高齢者医療被保険者証が更新

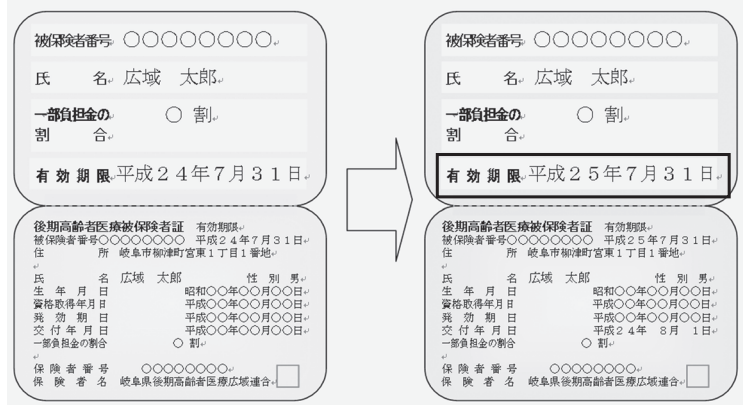
8月からは薄いみどり色の保険者証を使いましょう

○薄い青色の保険証は7月まで

現在使用している薄い青色の保険証は、有効期限が7月31日までとなっています。

8月からは7月中にお送りする新しい薄いみどり色の保険証をご使用ください。

※この保険証は、村に住所を有するすべての75歳以上の方と、65歳から74歳で一定の障がいがあり、後期高齢者医療制度に加入された方に交付されています



7月31日まで
薄い青色

8月1日から
薄いみどり色

7月の検診のお知らせ

種別	胃がん検診	肺がん検診	結核住民検診	乳がん検診
対象者	40歳以上	40歳以上	65歳以上	40歳以上の女性
日時	7/3 (火) 7/23 (月)	7/3 (火) 7/23 (月)	7/3 (火) 7/23 (月)	7/9 (月) 7/26 (木)
会場	鮎ヶ瀬会館	鮎ヶ瀬会館	村内各会場	鮎ヶ瀬会館
自己負担金	1,500円 (40,45,50, 55,60,65,70 歳の方は無料) ※要予約	レントゲンのみ …500円 レントゲン+痰 検査…1,000円	無料 (外国人就業者は550円)	1,500円 (40,45,50, 55,60歳の方は無料) ※要予約

加茂医師会 7月の休日診療のご案内 (診療時間：午前9時～午後5時)

日付	曜日	当番病医院	住所・連絡先 (市外局番:0574-)	医師
1	日	かわべ眼科	加茂郡川辺町中川辺 205-1 TEL: 53-4567	渡邊量巳
8	日	小林クリニック	加茂郡坂祝町黒岩 383-5 TEL: 25-8077	小林裕志
15	日	こくぼクリニック	美濃加茂市本郷町 9-18-26 TEL: 28-0133	小久保光治
16	月	木沢記念病院	美濃加茂市古井町下古井 590 TEL: 25-2181	北川浩司
22	日	木沢記念病院	美濃加茂市古井町下古井 590 TEL: 25-2181	佐口幸利
29	日	太田メディカルクリニック	美濃加茂市太田町 2825 TEL: 26-2220	佐々木裕茂

ぎふ清流国体・ぎふ清流大会 きよか 炬火リレー



両大会に先駆けて、県内全市町村を繋ぐ炬火リレーが開催されます。村では7月24日（火）に下記のコースで行われますので、皆さん応援をお願いします。

区間番号	走行区間	走行距離	スタート時間
1	五加センター ～ 五加運動場	約1 km	13:00
2	西洞口 ～ 役場	約1 km	13:20 (予定)
3	役場 ～ 診療所	約1 km	14:00 (予定)
4	名古屋女子大セミナーハウス ～ 道の駅	約1 km	14:20 (予定)
5	道の駅 ～ 越原コミュニティ消防センター	約1 km	14:35 (予定)

○走行区間

※「炬火リレー」とは

「炬火」とは、オリンピックでいう「聖火」にあたり、国体開催期間中は選手の活躍を見守るシンボルとなります。

7月16日に高山市乗鞍岳で採火される炬火は、県内各市町村をリレーでつなぎ、9月29日の総合開会式で炬火台に点火されます。

俳句

宵までも 総身に香る 新茶哉
 陽に向い ひまわり咲くや 重たげに
 冷やかな そうめん食す 梅雨晴間
 藤房の 滝の如しや 咲き吹かれ
 綿雲や 赤き苺に 目が覚める
 木の芽萌ゆ 水滴ダイヤの 朝日の美
 (あけぼの俳句の会)

安倍 栄香
 村雲とみ子
 村雲とも子
 村雲 春子
 安江とくよ
 安江 峰子



○受験資格

①平成二十四年四月一日において、高等学校又は中等教育学校を卒業した日の翌日から起算して三年を経過していない者及び平成二十五年三月までに高等学校又は中等教育学校を卒業する見込みのある者

○申込期間

インターネット：六月二十六日（火）～七月五日（木）
 郵送・持参：七月二日（月）～七月十日（火）

○試験日

一次：九月九日（日） 二次：十月十八日（木）
 二十五日（木）までのいずれか

○問合せ先

名古屋国税局人事第二課試験係
 Tel：052・951・3511（内線3450）

【お詫び】五月号四ページ、子護神社の神楽獅子の記事に誤りがありました。お詫び申し上げます、次のように訂正させていただきます。

○「幣の舞」 × 「幣の舞」

人口の動き

—5月末住民登録人口から—
 世帯数 …… 871世帯
 人口 …… 2,665人
 (男 1,279人 女 1,386人)
 転入 …… 0人
 転出 …… 6人
 出生 …… 1人
 死亡 …… 2人
 先月と比較して 7人減
 昨年と比較して 44人減

編集後記

今年も六月中旬に入り、緑の茶園が広がっています。そんな風景を見ていて思ったことですが、村内の茶園は傾斜地など山肌に多く植えられているので、石垣などで土留めされています。これらは機械の無い時代に大きな石を巧みに積み上げ、今なおそのままの状態で支え続けているのですから、昔の人の優れた技術に驚かされます。

昨年の「日本で最も美しい村」連合加盟の際にも、取り上げられた一つでもあります。これからは私たちがこの風景を守り続けていくことが大切だと思います。(Y)